

国債決済期間の短縮化とレポ市場



2015年 5月14日

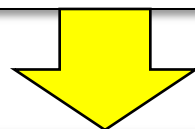
金融庁総務企画局市場課市場業務室

三辻 晋介

* 本資料において、意見にわたる部分は、説明者の個人的な見解であり、金融庁の公式見解を示すものではない。

国債取引の決済期間短縮化に向けた動き

- 平成20年 9月 リーマン・ブラザーズ証券 破綻
- 平成21年 9月 日証協「証券受渡・決済制度改革懇談会」の下に
「国債の決済期間の短縮化に関する検討WG」設置
- 平成22年 1月 金融庁「金融・資本市場に係る制度整備について」公表
- 〃 6月 「国債取引の決済リスク削減に関する工程表」策定
- 平成24年 4月 国債取引のT+2化 実現
- 平成26年11月 「国債取引の決済期間の短縮（T+1）化に向けた
グランドデザイン」公表



平成27年春を目処 国債取引のT+1化の実施目標時期 決定（予定）

グランドデザインについて

1. 目的

国債T+1化の対応について、参加者毎の個別対応や対応負担感などの全体像を理解いただき、市場参加者において、早めに対応方針の検討ができるよう取りまとめたもの。

2. 取りまとめまでの経緯

- | | |
|----------|--|
| 平成23年11月 | 「国債の決済期間の短縮化に関するWG最終報告書」 |
| 平成26年 3月 | 「国債の決済期間の短縮化に向けて コンサルティング報告書」 |
| 平成26年 7月 | 「国債取引の決済期間の短縮(T+1)化に向けたグランドデザイン(暫定版)」、パブリック・コメント募集 |
| 平成26年11月 | 「国債取引の決済期間の短縮(T+1)化に向けたグランドデザイン」 |